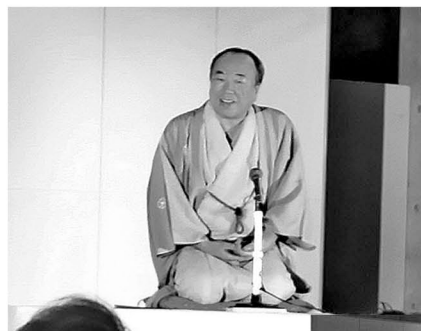




天文台だより

銀河の森天文台
2013 秋号
Vol.61

7/13、陸別スターライトフェスティバルを開催しました！



独演会での小糸ん師匠

7月13日、第5回陸別スターライトフェスティバルを開催しました。今年は以前大好評だった落語家柳家小糸ん師匠による小糸ん星空独演会を再び開催しました。

独演会では、「雑俳」、「ぐつぐつ」の2席が口演され、会場は笑い声で大盛り上がりでした。独演会後には、たくさんの方から寄せられた彗星にまつわる川柳49句の中から小糸ん師匠に選んでいただいた優秀作の発表を行いました。

小糸ん師匠はその後の観望会にも参加していただき、雲の多い空でしたが天の川周辺の天体を楽しめました。

川柳優秀作を発表する小糸ん師匠



彗星(ほうき星)にまつわる川柳

応募49句の中から小糸ん師匠が11句選出しました。

- ☆天晴れ賞「彗星のような家出をしてみたい」河合弘子
- ☆快晴賞「彗星を眺めるための藤寝椅子」岡島貴子
- ☆晴れ賞「彗星の核は東に尾は西に」今村保広
- ☆時々晴賞

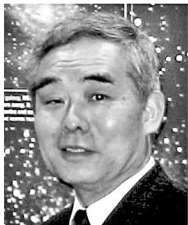
「ほうき星地球も一緒にそうじて」たのしまひとみ
「彗星の尻尾の具合見にゆきぬ」中村恵美子

他、小糸ん賞3名、褒めるだけ賞3名

「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

「満月の明るさを超える」、「今世紀最も明るい」、「永久に帰ってこない」と聞くとゾクゾクしてしまいますね。世紀のアイソン彗星が、いよいよやってきます。太陽に近づきすぎて消滅してしまう可能性もありますが、無事生き残って-5等級以上の明るさで、昼間の空にも肉眼で見えて欲しいものです。

アイソン彗星は、約1年前発見された“新顔”の彗星です。周期76年のハレー彗星などと違って、楕円軌道ではありません。たった1回限りの太陽系デビューです。ムカシの人たちは、彗星を自然災害や政情不安など、不吉の前兆として捉えました。私が子供の頃大いに悩んだのは、なぜ軌道が2次曲線しか描かないのか、その2は万有引力の法則の2乗とどう関係しているのかということでした。



(上出洋介館長)

9/8、漫画家松本零士先生講演会を開催しました！



9月8日、ふるさと銀河線りくべつ鉄道のイベントの一環として、漫画家松本零士先生の講演会を天文台で開催しました。

松本先生は、「未来はあなたの心の中にある」という題でご講演され、講演後には抽選で選ばれた方々にサイン色紙をプレゼントされました。

12月早朝！アイソン彗星観望会開催！

今世紀最大級と話題になっているアイソン彗星(C/2012 S1)が11月29日に近日点を通り見頃となります。アイソン彗星が見られるのは、11月中旬～12月中旬の早朝夜明け前です。下記の土日早朝、天文台を特別開館しアイソン彗星観望会を開催します。

☆アイソン彗星観望会

開催日時：12月7(土)、8(日)、14(土)、15(日)

開館時間：午前4時～6時(特別開館)

※ 入館料は夜間の料金になります。

※ 陸別町民はいつでも入館料無料です。

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
10月 1日	5:18	17:10	25.6	1:11	14:56
10月15日	5:35	16:46	10.1	14:28	1:14
11月 1日	5:56	16:20	27.1	3:05	14:52
11月15日	6:14	16:04	11.6	14:35	3:33
12月 1日	6:33	15:54	27.6	4:06	14:34
12月15日	6:46	15:53	12.1	14:25	4:30

天文行事&暦

10月

- 4 天王星が衝
(光度:+5.7等, 視直径:3".7)
- 5 ●新月
- 8 寒露(24節気:太陽黄経195°)
- 9 水星が東方最大離角
(光度:+0.0等, 離角:25° 20')
- 19 ○満月
- 21 オリオン座流星群が極大
(PM7時 最大15個/時)
- 23 霜降(24節気:太陽黄経210°)

11月

- 1 金星が東方最大離角
(光度:-4.4等, 離角:47° 04')
- 3 ●新月
- 7 立冬(24節気:太陽黄経225°)
- 16 驚き! おもしろ科学実験2013
- 18 ○満月
しし座流星群が極大
(AM1時 最大10個/時)
水星が西方最大離角
(光度:-0.5等, 離角:19° 29')
- 22 小雪(24節気:太陽黄経240°)
- 27-12/8 木星観望会
- 29 アイソン彗星(C/2012S1)が近日点通過

12月

- 11/27-12/8 木星観望会
- 2 水星食(陸別:潜入5:52、出現6:23)
- 3 ●新月
- 7 大雪(24節気:太陽黄経255°)
金星が最大光度(-4.7等)
- 7, 8, 14, 15 アイソン彗星観望会
- 13-15 ふたご座流星群観望会
- 14 ふたご座流星群が極大
(PM2時 最大50個/時)
- 17 ○満月
- 22 冬至(24節気:太陽黄経270°)

秋のイベント情報!!

☆驚き! おもしろ科学実験2013

11月16日、北海道大学、名古屋大学、国立環境研究所の先生・学生が行う「驚き! おもしろ科学実験2013」を開催します。ミニ講演会や彗星の核を作る実験も登場します。

開催日時: 11月16日(土)

科学実験コーナー: 午後1時~6時

ミニ講演会: 午後2時~ 第52次南極地域観測隊磯野靖子さん

※ 開館中は大型望遠鏡での通常観望も常時行っています

☆木星観望会

今年の木星はふたご座の中にあり、この時期見頃を迎えています。木星の縞模様をお楽しみ下さい。

開催日時: 11月27日(水)~12月8日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

天文台日記 - 「旅の途中…」 -

北海道の旅の途中で天文台を訪れてくれた少年とお母さんに会いました。この日はどんよりした曇り空でしたが、夜には一転してピカピカに晴れ、月や土星を見ることができて大はしゃぎでした。明るく元気な少年で、星の話や旅の話、ちょっとふざけた話までいろんな話をすっきり打ち解けていました。帰り際、それまで元気だった少年がしょんぼりとしていて私たちも切なくなりました。まいましたが、また来るね! と笑顔を見せてくれてとても嬉しかったです。星や宇宙についてご案内するのが私たちの仕事ですが、それだけでなく少しでも楽しい思い出としてお客様の心に残るよう、努力したいと思った出来事でした。(榊)



☆ふたご座流星群観望会

ふたご座流星群が12月14日の午後2時に極大時刻を迎え、これを前後して流星が多く見られると予想されるため観望会を開催します。

開催日時: 12月13日(金)~15日(日)

説明会: 午後7時30分から

「発見! 銀河の森」- 天文台に珍客現る -

夏の夜、いつものようにお客さんに星空を案内していると、暗闇のなか天文台の避雷針の上に何やら鳥が飛んできました。こんな夜に飛んでくる鳥なんてもしや、と思い懐中電灯を当ててみると、それはエゾフクロウでした。ククリとした大きな目でじっとこちらを見ており、なんともかわいいものでした。

天文台では時折夜にフクロウの鳴き声を聞くことがあります。こんなにそばまでやってきたのは初めてです。ライトを当てても逃げることなくしばらくじっとしており、めったに見ることのできないフクロウの姿に、お客さんも星空そっちのけでフクロウを眺めていました。(寛)



天文台からのお知らせ

☆ 10月より開館時間が、13:00~21:30となります。
(昼間13:00~17:00、夜間17:00~21:30)

☆ 年末年始12月30日(月)~1月7日(火)の期間は、天文台休館日となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館 (銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp